

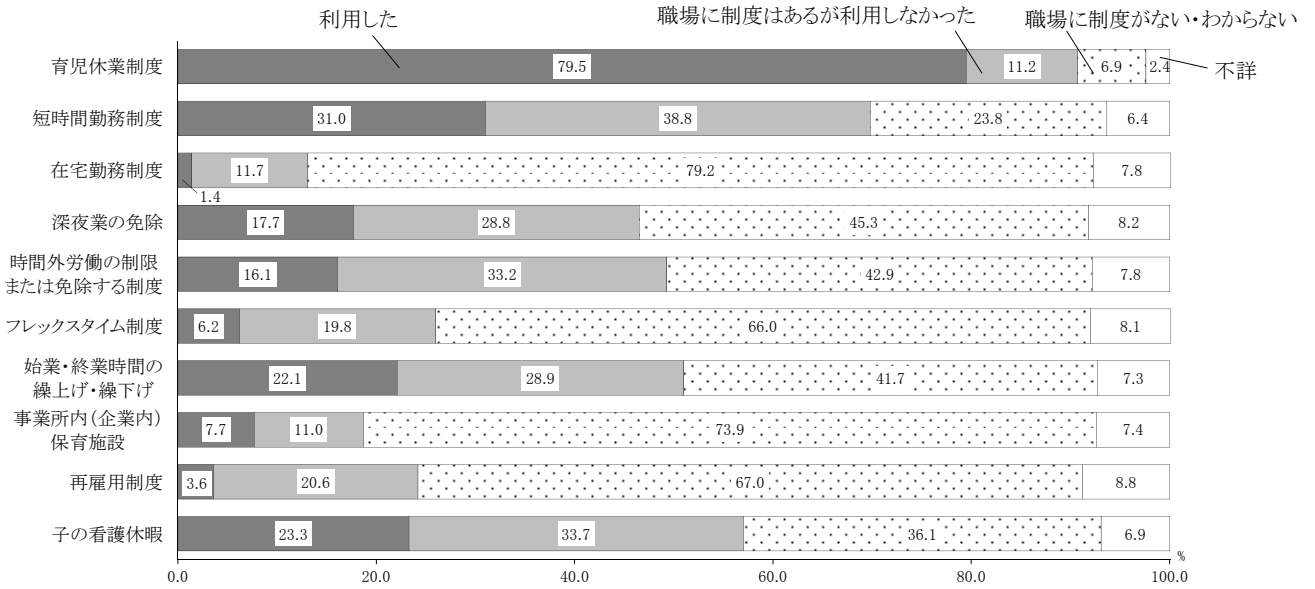
2 出産半年後から1歳6か月までの1年間に利用した仕事と家庭の両立支援制度

(1) 勤め(常勤)の母

勤め(常勤)の母が利用した制度で最も多かったのは「育児休業制度」の79.5%

就業状況が「勤め(常勤)」の母では、1年の間に「育児休業制度」を利用した者が79.5%と最も多く、次いで「短時間勤務制度」が31.0%、「子の看護休暇」が23.3%となっている(図3、統計表3)。

図3 就業状況が「勤め(常勤)」の母の仕事と家庭の両立支援制度の状況



注：1) 第2回調査の回答を得た者のうち、対象児本人が母と同居で就業状況が「勤め(常勤)」の者(総数 7,802人)で集計。

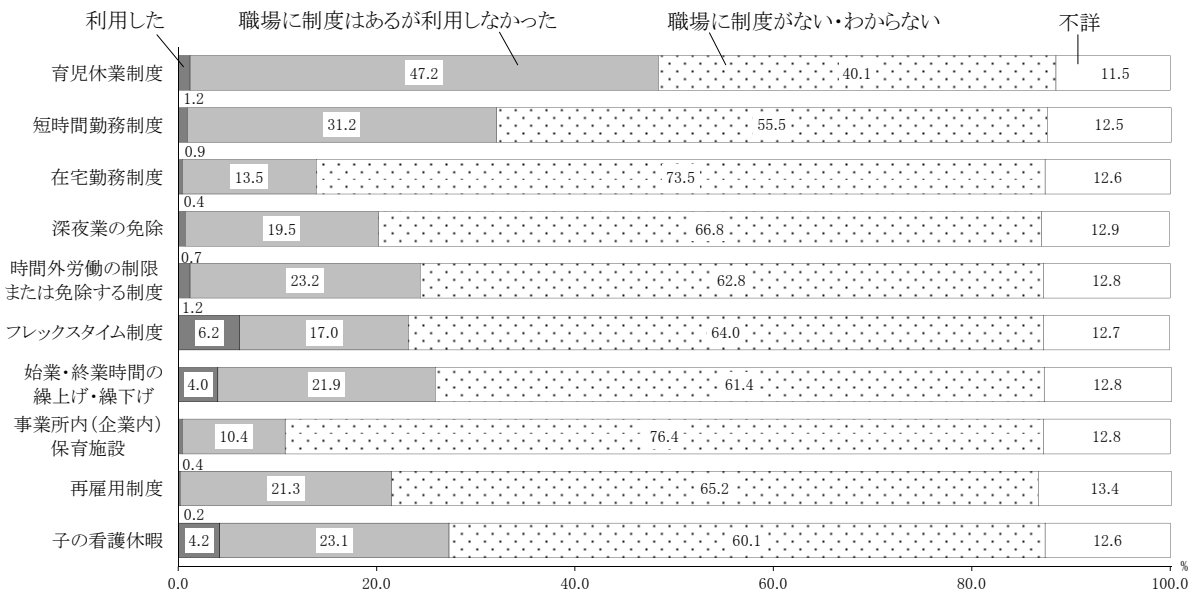
2) 出産半年後から1歳6か月までの1年間(平成22年12月から平成23年11月)の状況を集計。

(2) 勤め(常勤)の父

勤め(常勤)の父が利用した制度で最も多かったのは「フレックスタイム制度」の6.2%

就業状況が「勤め(常勤)」の父では、1年の間に「フレックスタイム制度」を利用した者が6.2%と最も多いが、「職場に制度がない・わからない」と回答した者が、「育児休業制度」以外で半数を超えている(図4、統計表4)。

図4 就業状況が「勤め(常勤)」の父の仕事と家庭の両立支援制度の状況



注：1) 第2回調査の回答を得た者のうち、対象児本人が父と同居で就業状況が「勤め(常勤)」の者(総数 27,820人)で集計。

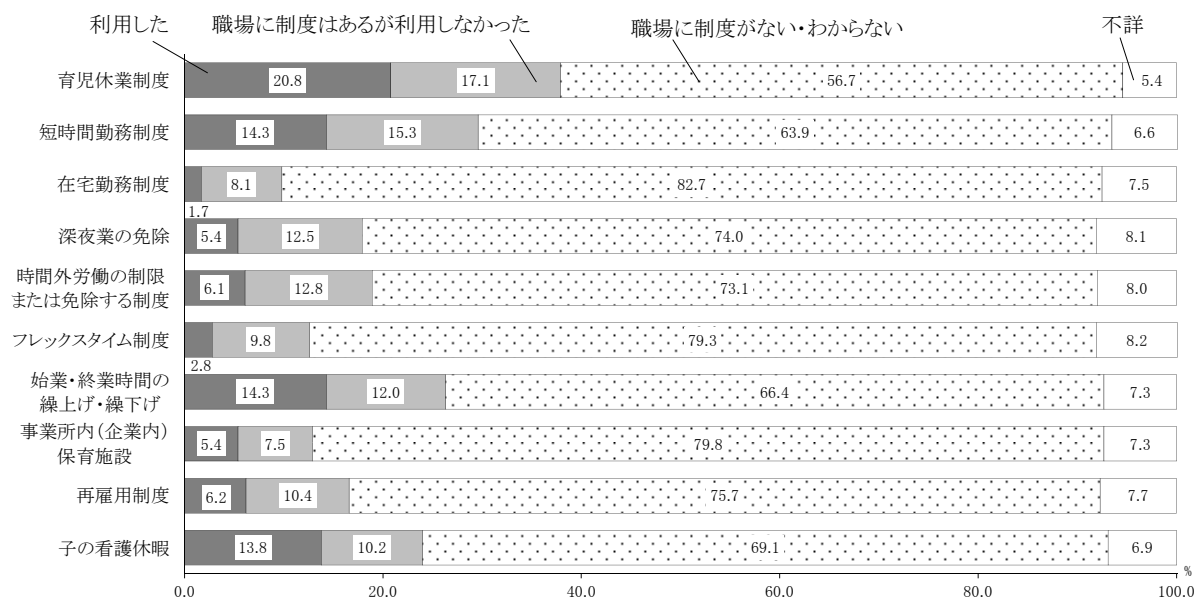
2) 出産半年後から1歳6か月までの1年間(平成22年12月から平成23年11月)の状況を集計。

(3) 勤め（パート・アルバイト）の母

勤め（パート・アルバイト）の母が利用した制度で最も多かったのは「育児休業制度」の20.8%

就業状況が「勤め（パート・アルバイト）」の母では、仕事と家庭の両立支援制度の状況を見ると、「育児休業制度」を利用した者が20.8%と最も多いが、「職場に制度がない・わからない」と回答した者が、すべてにおいて半数を超えている（図5、統計表5）。

図5 就業状況が「勤め（パート・アルバイト）」の母の仕事と家庭の両立支援制度の状況



注：1) 第2回調査の回答を得た者のうち、対象児本人が母と同居で就業状況が「勤め（パート・アルバイト）」の者（総数 4,574人）で集計。
2) 出産半年後から1歳6か月までの1年間（平成22年12月から平成23年11月）の状況を集計。